

都道府県名	事業名	研修名または取組名
大分県	看護の地域ネットワーク推進事業	新人ナースサポート会議

### 取組のポイント

○県内の地域ごとに新人看護職員離職防止に対する研修を行い、県内全体の新人看護職員の離職防止を図る。

### 大分県プロフィール

人口	1,171,000 人 <sup>1)</sup>	面積	6340.61km <sup>2</sup> <sup>2)</sup>
就業看護職員数	20,584 (19,130.1) 人 <sup>※</sup>	病院数	158 <sup>4)</sup>
就業看護師数	13,482 (12,645.6) 人 <sup>3)</sup>	一般診療所数	972 <sup>4)</sup>
就業准看護師数	6,092 (5,518.1) 人 <sup>3)</sup>	助産所数	48 <sup>5)</sup>
就業保健師数	672 (654.2) 人 <sup>3)</sup>	介護老人保健施設数	72 <sup>6)</sup>
就業助産師数	338 (312.2) 人 <sup>3)</sup>	訪問看護ステーション数	93 <sup>6)</sup>

注：就業看護職員数・就業看護師数・就業准看護師数・就業保健師数・就業助産師数の数値は、実人数であり、( )内は常勤換算

※ 就業看護職員数は、就業看護師数・就業准看護師数・就業保健師数・就業助産師数の合計から算出

### 背景・経緯

近年、医療の高度化、県民の要望の多様化に対応できる質の高い看護職員の確保や、県民誰もがができる限り住み慣れた家庭や地域で療養できるよう、在宅医療の提供体制づくりが喫緊の課題となっている。

これらの課題解決のためには、教育研修体制の整備、多様な勤務形態の導入など病院をあげて行う勤務環境改善の取組に加えて、退院支援の充実や医療と介護の連携の推進などによる病院から地域につなぐ取組が求められている。

こうした中、大分県では平成 18 年 9 月から、「看護の地域ネットワーク推進事業」を実施している。この事業では、安心・安全で質の高い地域医療の提供に寄与することを目的として、看護職員の資質の向上、関係機関のスムーズな連携強化及び看護職員の確保定着に努めるため、各保健所管内施設の看護管理者等で構成する看護ネットワーク推進会議を母体とし、事業を展開しており、この事業の一つとして、「新人ナースサポート会議」が行われている。(図 1)

1) 総務省統計局：人口推計（平成 26 年 10 月 1 日時点）

2) 国土交通省国土地理院：平成 26 年全国都道府県市区町村別面積調（平成 26 年 10 月 1 日時点）

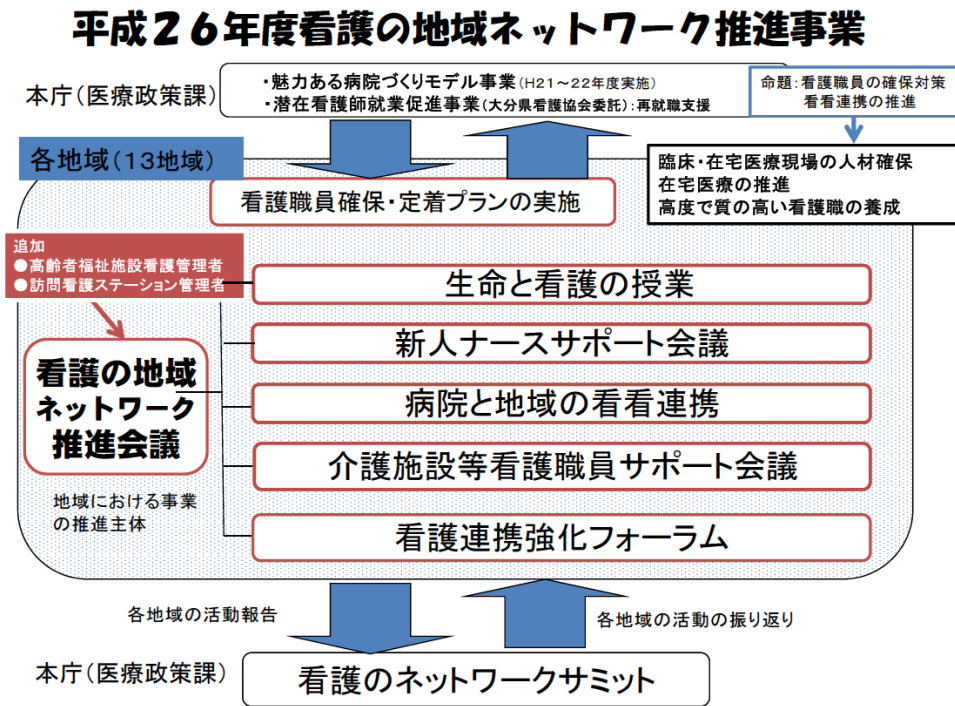
3) 厚生労働省：平成 26 年衛生行政報告例（就業医療関係者）の概況（平成 26 年末時点）

4) 厚生労働省：平成 26 年医療施設調査（平成 26 年 10 月 1 日時点）

5) 厚生労働省：平成 26 年衛生行政報告例（平成 26 年度末時点）

6) 厚生労働省：平成 26 年介護サービス施設・事業所調査（平成 26 年 10 月 1 日時点）

【図1】平成26年度 看護の地域ネットワーク推進事業



## 取組の概要

研修名または取組名	新人ナースサポート会議
＜目的＞	新人看護職員同士が悩みを共有し、臨床現場で役立つ技術を身につけることで、いきいきと働き続けることに繋がるとともに、新人看護職員の早期離職を防止する。
＜内容＞	ピアカウンセリングや、新人ナース同士のグループワーク等を実施する。
＜対象者＞	新人看護職員及びサポートする立場の者等
＜委託先＞	なし
＜期間＞	地域により異なる（年2回程度）
＜予算＞	44.2万円/年

## 取組の具体的な内容

### 各地域の新人看護職員をサポートする

大分県では、県内各地域の看護職員が、「つながる・問題解決・資質の向上」をキーワードに医療機関の枠を超えて連携し、地域の実情に即した看護職員の確保・定着対策を推進することを目的とし、医療機関等各施設の看護管理者等で構成する「看護の地域ネットワーク推進会議」を各地域<sup>※1</sup>に設置している。

「看護の地域ネットワーク推進会議」では、新人ナースサポート会議、小中学生に対する生命と看護の授業、連携強化フォーラム、介護施設等看護職員サポート会議など、看護職員の確保・定着のための様々な取り組みを実施している。さらに、各地域の活動報告と新たな看護課題の情報共有のため、看護のネットワークサミットを年1回開催し、情報共有を行っている。

新人ナースサポート会議では、新人看護職員の離職防止を目的とし、大学の研究者、施設の管理者、認定看護師による講義やグループワーク等の研修を実施している。

### 研修の内容と実施状況

新人ナースサポート会議による研修は、年度や地域によって様々であり、例えば新人看護職員を対象とした看護技術、コミュニケーションスキル、メンタルヘルス、新人看護職員教育担当者等を対象とした若手看護師の指導方法の教育などが行われている。（表1）

※1 地域とは、保健所（保健部）を事務局とした、歴史的にも親密感があり、日常的にも交流が行われている地域。（13地域）

【表1】平成26年度 新人ナースサポート会議（研修会）実施状況

地域		研修テーマ	受講者数 (人)
国東	1回目	「動物に学ぶ生き方について」	70
	2回目	「認知症パーソンズケアについて」	82
日出 杵築	1回目	「寄り添う心 看護の心」	31
別府	1回目	「今の自分・なりたい自分」	33
由布	1回目	「メンタルヘルス活動からみる若手看護師指導のポイント」	24
臼津	1回目	「対人関係スキルアップ基礎講座」	19
佐伯	1回目	「医療現場で役立つコミュニケーションスキル」	35
	2回目	(大分県看護協会佐伯地区と共催) 「高齢社会に求められる看護職とは」 「病棟から在宅へ～当訪問看護ステーションにおける活動を通じて～」	47
竹田 (豊後大野地区 と合同開催)	1回目	「看護職に求められる役割と意識」	18
	2回目	「看護職が担う医療安全について」	37
豊後大野	1回目	「誤嚥防止他」	17
	2回目	「点滴・注射・採血」	25
	3回目	「トランスファー」	23
	4回目	「BLS」	39
	5回目	「人工呼吸器」	16
	6回目	「透析患者の看護」	20
日田 (日田・九重 玖珠地区と合同 開催)	1回目	「コーチングを学ぶ」	37
	2回目	「メンタルヘルス活動からみる若手看護師指導のポイント」	30
中津 宇佐 (豊後高田地区 と合同開催)	1回目	「医療現場で役立つコミュニケーションスキル ～ここに来て良かった、という病院づくりのために～」	37
	2回目	事例検討「相手に寄り添うコミュニケーションをめざして」 ○がんの告知を受けた患者さんへの声かけ ○「死にたい」と言った患者さんへの声かけ ○思いのずれを生じてしまった患者さんとの関わり ○気分にもらがある患者さんとの関わり	25

## 受講者の反応と離職率の推移

新人ナースサポート会議の受講者を対象に実施したアンケートでは、「同じ悩みを持つナースたちが話し合えて勇気が持てました。頑張ろうと思いました。」「自分を振りかえる区切りの機会となり、自分を俯瞰してみることの大切さが分かった。」などの意

見が聞かれた。

また、大分県の常勤看護職員（新卒）の離職率は、平成 20 年度に 15.7%まで上昇したものの、同年以降低下しており、平成 23 年度以降は 5.0%前後という、全国平均よりも大きく下回る数値を示している。（表 2）

【表 2】常勤看護職員（新卒）の離職率の推移

単位：（%）

	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
全国平均	9.2	9.2	8.9	8.6	8.1	7.5	7.9	7.5
大分県	8.2	8.2	15.7	11.3	5.9	4.8	5.1	5.0